

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	職員に対して、身体拘束に関する研修や拘束にあたる行為や弊害等について定期的に周知を図っているが利用者の安全、危険回避を優先するため家族等に同意を得たうえでやむを得ず玄関の施錠や転倒防止ベルトを使用している。	利用者の安全最優先のため、やむを得ない場合はあるが、出来るだけ施錠やベルトの使用をしない時間を持てるようにし開放的な環境を目指す。	精神的に穏やかで安心して生活出来るケアに努め、不安定で多動になりベルトが必要になる時間を出来るだけ少なくしたり、不穏になり離脱行動の少ないように取り組み、職員が付き添って対応出来る時間等、開錠できる時間を増やせるように努める。	6 か月
2	2	以前からの取り組みだったが、市街地から離れた立地条件もあり地域との繋がりが少なく、現在はコロナ禍にありボランティア等の受け入れも出来ず、殆んど交流が途絶えている。	ボランティア活動等受け入れや運営推進会議に地域の様々な立場の方々に参加頂き、地域の一員として機能できる事業所を目指す。	コロナ禍という外的要因が大きいですが、早くワクチン接種が進み収束に向かえば、ボランティア活動等受け入れや地域の様々な立場の方々に呼びかけ運営推進会議への参加を呼びかけ、積極的に地域とのつながりを持てるよう努める。	12 か月
3					か月
4					か月
5					か月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。